

		評価項目	平均	
I 教育理念 教育目的	1.	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。	3.8	3.5
	2.	教育理念・教育目的は、継続的に改善・見直しされているか。	3.1	
II 教育目標	3.	教育目標は、理解しやすいように設定、意図を明確にし、実現可能なものと示されているか。	3.6	3.4
	4.	卒業時の到達状況を分析し、教育活動にフィードバックしているか。	3.1	
III 教育課程 経営	5.	授業概要（シラバス）は、学生が授業内容を理解しやすく、授業内容と一致しているか。	3.6	3.7
	6.	単位認定の評価（認定）基準は、明確に設定・明示され、教員・学生に理解されているか。	3.9	
	7.	臨地実習施設の選択、学生の配置が適切に行われているか。	3.5	
	8.	患者の権利・プライバシーが侵害されることのないよう、記録等の取扱いについて指導ができていないか。	4.0	
	9.	病棟師長・実習担当者などに、実習目標について理解を得るような働きかけが行われているか。	3.6	
IV 教育活動	10.	授業内容は学生に合ったものであり、教育理念・目標と一貫性があるか。	3.5	3.7
	11.	履修形態（講義・演習・実習）は、学習の段階や、授業内容の関連性を考慮した上で、授業内容との関連性において選択されているか。	3.6	
	12.	シラバスは、授業内容の意図・内容の設定が、学生が理解しやすいよう具体的に設定・記述されているか。	3.6	
	13.	試験結果や実習記録、レポート等は適切な時期に返却されているか。	4.1	
	14.	学生の必要時、教師の助言・指導を受けられるような体制を整えられているか。	3.9	
	15.	学生による授業評価を実施し、授業の改善に努めているか。	3.8	
V 経営管理	16.	設置者の意思・指針と経営・管理にあたる管理者の考え方は、教職員に理解・浸透しているか。	2.5	3.3
	17.	教職員は役割機能を明確にし、必要かつ十分な配置ができていないか。	2.7	
	18.	組織間、各部署間の連携は適切に図られているか。	2.9	
	19.	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	3.0	
	20.	教育活動に関する情報公開が適切に行われているか。	3.5	
	21.	教育目的を達成するために、学習・教育環境が整えられているか。	3.8	
	22.	学生のために、休息、親睦および交流等を行うためのスペースが設けられているか。	3.3	
	23.	入学後の学生の経済的支援体制、健康相談等、カウンセラーの配置など支援体制を整えているか。	3.8	
	24.	卒業後の進路相談・就職相談等、支援体制ができていないか。	3.8	
	25.	社会活動（ふれあい看護・ボランティア等）を通して、社会の一員として視野や認識が持てるように、支援・指導をしているか。	4.1	

	評価項目		
VI 入学	26. 学校案内・募集要項の内容は、志願者が必要とする情報が掲載されているか。	4.1	3.8
	27. オープンキャンパスの時期・内容は適切か。	3.8	
	28. 入学者選抜の時期・方針・方法は適切か。	3.5	
VII 卒業 就業 進学	29. 国家試験の合格状況を把握し、教育目的の到達状況の評価として分析しているか。	3.7	3.6
	30. 中途退学者を少なくする工夫・努力をしているか。	3.6	
	31. 卒業生の県内就職率を高めるよう努めているか。	3.5	
VIII 地域社会	32. 健康や看護について、啓蒙・普及活動につながるような公開講座などを開催し、地域貢献をしているか。	3.3	3.6
	33. 地域との協力関係が確立されているか。（臨地実習・施設見学など）	4	
IX 研究	34. 養成所の教育水準の維持・向上をはかるため、研究活動を行っているか。	2.1	2.0
	35. 学校の抱えている課題を踏まえて職場内研修を行っているか。	1.9	

I. 教育理念・教育目的	3.5
II. 教育目標	3.4
III. 教育課程経営	3.7
IV. 教育活動	3.7
V. 経営管理	3.3
VI. 入学	3.8
VII. 卒業・就業・進学	3.6
VIII. 地域社会	3.6
IX. 研究	2.0

評価基準
5. 良い
4. やや良い
3. どちらでもない
2. やや不十分
1. 不十分

